

な か は ら く 中原区

すがた か まちの姿が変わっているよ！ 武蔵小杉駅周辺



1985年(昭和60年)の武蔵小杉駅周辺の様子



現在の武蔵小杉駅周辺の様子

武蔵小杉駅周辺地区では、民間の会社と市が協力しながら、研究開発ビル、住宅、商業施設などをつくる再開発が進んでいます。再開発のためには、地域全体をいくつかの地区に分けて、どこにどんな道路や建物をつくるか長い目で見て計画をたてます。

武蔵小杉駅周辺地区では、みんなが安全で豊かな生活ができるように、道路を広くしたり、木や花を植えたりする広場や歩行空間などを整備しています。

このようにして、昔は工場やグランドなどだった場所に多くの方が住むようになったため、「特定非営利活動法人(NPO法人)小杉駅周辺エリアマネジメント」が誕生し、イベントや清掃活動など、自らがまちを育むためのさまざまな活動を行っています。

はな みどり 花と緑があふれるまちに！

区民のみなさんが話し合ってまとめた“未来の中原区”を、少しずつ実現するために、「なかはら20年構想委員会」は誕生しました。

花と緑を増やしながら郷土に愛着をもってもらおうと、農家と協力し、「区の花パンジー」をいろいろな場所に植えて、花の回廊をつくる活動をしています。昔から住んでいる人たちと、マンションなどに新しく引っ越してきた人たちとの、交流の場にもなっています。

パンジー探して
みてね！



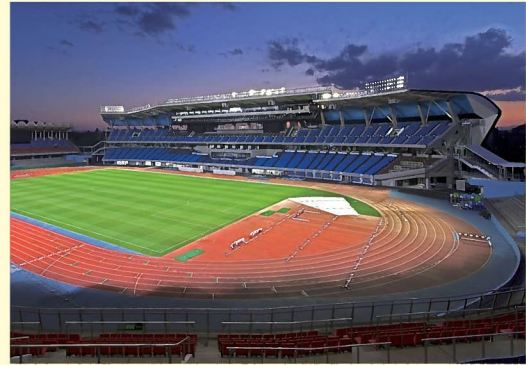
花だんのように

まちづくり事例だよ！

トピックス

とどろきりくじょうきょうぎじょう か 等々力陸上競技場が変わったよ！

川崎市3大公園緑地のひとつ等々力緑地に位置する等々力陸上競技場は、昭和41年度に開設し、日ごろから、市内小中学生・高校生の陸上競技大会が開催されるとともに、Jリーグ川崎フロンターレのホームスタジアムとして使用されているほか、ゴールデンランプリなど公認陸上競技場として使用されています。施設規模を大きくし、観戦しやすい環境にするため、メインスタンドの改築工事を行い、平成27年に完成しました。様々な省エネ技術や防災設備を採用し、環境にやさしいスタジアムができました。



環境にやさしい様々な省エネ技術から、次の3つの技術について紹介します。

① 太陽光発電

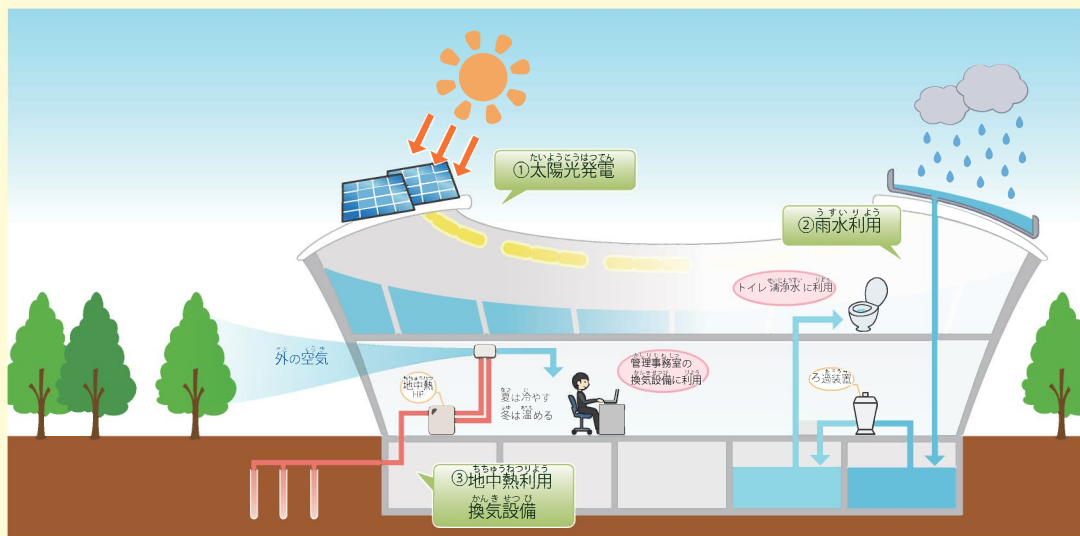
屋根に150kW分の太陽光発電設備が設置され、日常的な電気をまかっています。

② 雨水利用

屋根に降った雨を地下の水槽に貯めて、トイレの洗浄水として利用しています。

③ 地中熱利用冷暖房

地中は通年で一定温度であるため、事務所は地中熱を利用して空調を行っています。



まちづくり事例だよ！